

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場会社名 市光工業株式会社  
 コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 市川 侑男  
 (氏名) 米田 撰津太郎  
 配当支払開始予定日

上場取引所 東  
 TEL 03-3443-7281  
 平成20年12月9日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	58,836	—	886	—	1,516	—	334	—
20年3月期第2四半期	57,391	△1.4	663	△61.7	811	△61.0	131	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第2四半期	3.49		—	
20年3月期第2四半期	1.37		—	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第2四半期	99,154		32,180		30.1	311.12		
20年3月期	97,673		32,285		30.8	313.39		

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 29,845百万円 20年3月期 30,065百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
21年3月期	—	2.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,900	△3.5	1,700	△28.8	2,300	△10.3	600	△81.5	6.25

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	96,036,851株	20年3月期	96,036,851株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	107,303株	20年3月期	99,885株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	95,934,693株	20年3月期第2四半期	95,947,150株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月16日に発表いたしました連結業績予想は、通期について修正しております。詳細は、平成20年11月6日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。また、配当につきましては、中間配当金を2円に修正し、期末配当金を未定とさせていただきます。詳細は、平成20年11月7日発表の「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により異なる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 平成21年3月期第2四半期(3か月)の連結業績(平成20年7月1日～平成20年9月30日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(3か月)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	29,697	—	358	—	581	—	△122	—
20年3月期第2四半期	29,154	△2.1	699	△27.6	688	△40.0	211	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第2四半期	△1.28		—	
20年3月期第2四半期	2.21		—	

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国におけるサブプライムローン問題に起因する金融不安の影響を受けた世界的な株安、急激な円高により企業収益が圧迫され、景気減速傾向が一層強まる展開となりました。また、世界経済におきましても、米国大手証券会社の経営破綻など金融不安による景気後退が顕著となり、先行きの不透明感をさらに強めております。

当社グループが属する自動車業界におきましては、国内自動車販売が伸び悩んだものの、対新興国、資源国向けを中心とした輸出が好調に推移したことから、国内生産台数は前年同期比5.6%の増加となりました。

このような環境の下、当社グループは、「品質第一の企業への変革」をスローガンとして業務改革に取り組み、開発、設計、生産に至る一連の業務において品質並びに合理化目標を達成することに主眼を置き、高収益体質の確立に努めてまいりました。その結果、第2四半期連結累計期間売上高は、58,836百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は886百万円（同33.5%増）、経常利益は1,516百万円（同86.8%増）、四半期純利益は334百万円（同154.1%増）となりました。

当社グループ主力の自動車部品関連の売上高は57,377百万円（同2.6%増）で、自動車関連以外の部門における売上高は1,458百万円（同0.4%増）となっております。

所在地別セグメントの業績は次の通りであります。

#### ①日本

日本におきましては、国内需要が伸び悩んだものの、対新興国向けを中心とした輸出が好調に推移し、国内生産台数が前年同期比5.6%の増加だったことから、売上高53,953百万円（前年同期比3.1%増）となりましたが、原材料価格高騰の影響等により、営業利益は411百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

#### ②北米

北米におきましては、自動車生産台数が減少傾向の中、売上高は1,967百万円（前年同期比16.3%減）、営業損失は74百万円となりました。

#### ③アジア

アジアにおきましては、マレーシア及びインドネシアでの現地生産が拡大し好調に推移したことから、売上高2,914百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は483百万円（同48.6%増）となりました。

なお、前年同期増減率につきましては、参考として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は99,154百万円となり、前連結会計年度末比1,480百万円の増加となりました。その主な要因は、流動資産の増加1,578百万円、流動負債の減少2,708百万円、固定負債の増加4,293百万円であります。また、純資産は32,180百万円となり、自己資本比率は30.1%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は14,581百万円となり、前連結会計年度末比1,970百万円の増加となりました。

営業活動により使用した資金は税金等調整前四半期純利益1,038百万円、減価償却費2,181百万円、製品保証引当金の減少1,808百万円、仕入債務の減少1,769百万円等により469百万円となりました。投資活動により使用した資金は有形固定資産の取得による支出3,481百万円、有形固定資産の売却による収入2,710百万円等により960百万円となりました。財務活動により獲得した資金は長期借入れによる収入6,445百万円、長期借入金の返済による支出2,737百万円等により3,429百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

わが国の経済情勢は、米国のサブプライムローン問題に端を発する世界的な金融不安の影響を受けた株価の大幅な下落、急激な為替の変動により景気減速傾向が強まっております。また、国内外における自動車生産の減少の影響により、自動車部品業界を取り巻く状況も厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は減収となる見込みであります。また、営業利益、経常利益及び当期純利益につきましても売上高の減少の見込みに伴い、業績予想を下方修正しております。

当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断している見通しであります。今後米国経済の低迷の長期化や為替・株式相場の動向が懸念され、景気の先行きは予断を許さない状況が続くものと予想されますので、実際の業績は、現時点の業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、持分法の適用の異動状況は、以下の通りであります。

持分法 新規 1社（社名 無錫光生科技有限公司）

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### 簡便な会計処理

###### 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

###### 2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間案分して算定する方法によっております。

###### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### 1. 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### ・ 会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. たな卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ152百万円減少しております。

3. 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

4. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,450	13,440
受取手形及び売掛金	21,512	22,001
有価証券	88	89
商品及び製品	4,603	4,243
仕掛品	1,166	1,084
原材料及び貯蔵品	2,859	2,855
繰延税金資産	1,904	2,004
その他	5,328	5,621
貸倒引当金	△30	△36
流動資産合計	52,882	51,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,748	9,033
機械装置及び運搬具（純額）	7,863	8,348
工具、器具及び備品（純額）	2,316	2,959
土地	6,158	6,181
リース資産（純額）	1,358	—
建設仮勘定	2,934	2,960
有形固定資産合計	29,379	29,482
無形固定資産		
	274	234
投資その他の資産		
投資有価証券	6,259	6,477
繰延税金資産	6,673	6,663
その他	3,709	3,537
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	16,618	16,653
固定資産合計	46,272	46,370
資産合計	99,154	97,673

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成20年9月30日)前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,027	21,651
短期借入金	3,455	3,275
1年内償還予定の社債	80	80
1年内返済予定の長期借入金	5,709	5,582
未払法人税等	373	308
未払費用	3,265	3,375
製品保証引当金	507	2,316
役員賞与引当金	28	55
その他	3,590	3,100
流動負債合計	37,038	39,746
固定負債		
社債	60	100
長期借入金	20,486	16,894
退職給付引当金	8,038	7,999
役員退職慰労引当金	16	248
負ののれん	6	8
その他	1,327	392
固定負債合計	29,935	25,642
負債合計	66,973	65,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,929	8,929
資本剰余金	7,840	7,840
利益剰余金	16,357	16,315
自己株式	△28	△26
株主資本合計	33,099	33,059
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,524	△1,415
為替換算調整勘定	△1,730	△1,579
評価・換算差額等合計	△3,254	△2,994
少数株主持分	2,335	2,219
純資産合計	32,180	32,285
負債純資産合計	99,154	97,673

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	58,836
売上原価	50,509
売上総利益	8,326
販売費及び一般管理費	7,440
営業利益	886
営業外収益	
受取利息	72
受取配当金	89
固定資産賃貸料	198
持分法による投資利益	109
受取技術料	257
その他	258
営業外収益合計	986
営業外費用	
支払利息	255
その他	100
営業外費用合計	356
経常利益	1,516
特別利益	
固定資産売却益	24
その他	17
特別利益合計	41
特別損失	
固定資産処分損	111
投資有価証券評価損	86
製品保証損失	312
その他	10
特別損失合計	519
税金等調整前四半期純利益	1,038
法人税等	564
少数株主利益	139
四半期純利益	334

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
売上高	29,697
売上原価	25,619
売上総利益	4,077
販売費及び一般管理費	3,719
営業利益	358
営業外収益	
受取利息	38
受取配当金	4
持分法による投資利益	45
受取技術料	160
その他	248
営業外収益合計	498
営業外費用	
支払利息	145
為替差損	80
その他	49
営業外費用合計	275
経常利益	581
特別利益	
固定資産売却益	23
その他	5
特別利益合計	29
特別損失	
固定資産処分損	26
投資有価証券評価損	86
製品保証損失	312
その他	0
特別損失合計	424
税金等調整前四半期純利益	186
法人税等	266
少数株主利益	43
四半期純損失(△)	△122



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,038
減価償却費	2,181
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,808
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	40
受取利息及び受取配当金	△162
支払利息	255
為替差損益 (△は益)	△9
持分法による投資損益 (△は益)	△109
有形固定資産売却損益 (△は益)	86
投資有価証券評価損益 (△は益)	86
売上債権の増減額 (△は増加)	476
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△450
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,769
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	78
その他	42
小計	△24
利息及び配当金の受取額	162
利息の支払額	△255
法人税等の支払額	△351
営業活動によるキャッシュ・フロー	△469
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△260
定期預金の払戻による収入	220
有価証券の取得による支出	△58
有価証券の売却による収入	58
有形固定資産の取得による支出	△3,481
有形固定資産の売却による収入	2,710
投資有価証券の取得による支出	△10
貸付金の回収による収入	13
その他	△152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△960

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	180
長期借入れによる収入	6,445
長期借入金の返済による支出	△2,737
社債の償還による支出	△40
自己株式の取得による支出	△1
配当金の支払額	△287
少数株主への配当金の支払額	△13
リース債務の返済による支出	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,429
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,970
現金及び現金同等物の期首残高	12,611
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,581

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

自動車部品製造販売業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	27,372	995	1,330	29,697	—	29,697
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	196	27	56	281	△281	—
計	27,568	1,023	1,386	29,978	△281	29,697
営業利益又は営業損失(△)	159	△55	223	327	30	358

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	53,953	1,967	2,914	58,836	—	58,836
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	465	79	121	665	△665	—
計	54,418	2,047	3,035	59,501	△665	58,836
営業利益又は営業損失(△)	411	△74	483	820	65	886

〔海外売上高〕

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,345	2,344	3,690
II 連結売上高(百万円)	—	—	29,697
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	4.5	7.9	12.4

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,660	5,184	7,844
II 連結売上高(百万円)	—	—	58,836
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	4.5	8.8	13.3

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高		57,391 100.0
II 売上原価		49,415 86.1
売上総利益		7,976 13.9
III 販売費及び一般管理費		7,313 12.7
営業利益		663 1.2
IV 営業外収益		
受取利息	83	
受取配当金	81	
固定資産賃貸料	200	
ロイヤリティ	76	
負ののれん償却額	1	
開発費及び技術支援料	157	
その他	218	819 1.4
V 営業外費用		
支払利息	215	
固定資産貸与費用	59	
為替差損	209	
持分法による投資損失	128	
その他	57	670 1.2
経常利益		811 1.4
VI 特別利益		
固定資産処分益	53	
投資有価証券売却益	1	
貸倒引当金戻入益	20	
その他	8	83 0.1
VII 特別損失		
固定資産処分損	175	
その他	11	186 0.3
税金等調整前中間純利益		708 1.2
法人税、住民税及び事業税	224	
法人税等調整額	227	452 0.8
少数株主利益		124 0.2
中間純利益		131 0.2

## (2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純利益	708
減価償却費	2,164
貸倒引当金の減少額	△10
製品保証引当金の増加額 (△減少額)	△2,709
退職給付・役員退任慰労金の増加額	266
受取利息及び受取配当金	△165
支払利息	215
持分法による投資損失	128
投資有価証券売却益	△1
有形固定資産処分損益	121
売上債権の減少額	2,751
たな卸資産の増加額	△651
未収入金他の減少額	902
仕入債務の増加額 (△減少額)	△1,134
未払費用他の増加額	△21
役員賞与の支給額	△7
その他	61
小計	2,621
利息及び配当金の受取額	164
利息の支払額	△215
法人税等の支払額	△271
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,299
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入れによる支出	△399
定期預金の払戻しによる収入	320
有価証券の取得による支出	△49
有価証券の売却による収入	50
有形固定資産の取得による支出	△4,711
有形固定資産の売却による収入	2,101
投資有価証券の取得による支出	△105
投資有価証券の売却による収入	1
貸付金の回収による収入	47
貸付金の貸付による支出	△6
長期預り金の返済による支出	△1,422
その他	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,162
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の増減額	165
社債の償還による支出	△40
長期借入れによる収入	367
長期借入金の返済による支出	△2,560
配当金の支払額	△287
少数株主への配当金の支払額	△13
その他	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,372
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△27
<b>V 現金及び現金同等物の増加額</b>	△4,262
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	13,790
<b>VII 現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	9,528

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

当連結グループは自動車部品の製造販売を主事業としている専門メーカーですが、一セグメントの売上高及び営業利益の金額は全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める割合が90%超となっております。

また、当該セグメント以外に開示基準に該当するセグメントがありません。したがって、その記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	52,338	2,349	2,704	57,391	—	57,391
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	797	—	112	910	△910	—
計	53,136	2,349	2,817	58,302	△910	57,391
営業費用	52,709	2,507	2,491	57,707	△979	56,728
営業利益又は営業損失(△)	426	△158	325	594	69	663

c. 海外売上高

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,957	4,920	7,877
II 連結売上高(百万円)	—	—	57,391
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	5.2	8.5	13.7